

●調査レポート

埼玉県内主要産業動向調査(産業天気図)－2014年7～9月期－

調査対象：県内企業 573 社
 回答企業：297 社(回答率 51.8%)

調査方法：アンケート方式(8月上旬 郵送回収)
 業種別内訳：製造業 183 社 非製造業 114 社

概況

今回の産業天気図は、雨が小降りとなり、若干の晴れ間がのぞくなど、持ち直している。製造業では、**金属製品**は公共工事や東日本大震災の復興需要から「晴れ一部曇り」へ好転している。また、**電気・情報通信機器**は省力化や環境関連装置が改善し、自動車部品を中心とした温度検知・制御用の各種センサーの需要が堅調、**電子部品・デバイス**はスマートフォン・タブレット端末用部品が好調、**飲・食料品**はスイーツ類やパン類が堅調なことから、いずれも「曇り」へ持ち直している。

非製造業では、**一般建設**が経済対策による公共工事が寄与し「晴れ一部曇り」へ、**小売**は自動車販売で反動減の影響が見られるものの、スーパーやコンビニなどで総じて売上が改善し、**運輸・倉庫**はコンビニ向けの取扱量が拡大するなどから、「曇り」へ各々持ち直している。

先行きについては、雨はほとんど止み、晴れ間ものぞく曇り空となる見通しである。製造業では、**医薬品**や**プラスチック製品**で売上や収益が改善すると見られる**化学・プラスチック・ゴム製品**が「曇り」へ、**年末需要**や**教科書の改訂需要**なども寄与すると見られる**印刷・同関業**が「曇り一部雨」へ、各々持ち直す見通しである。

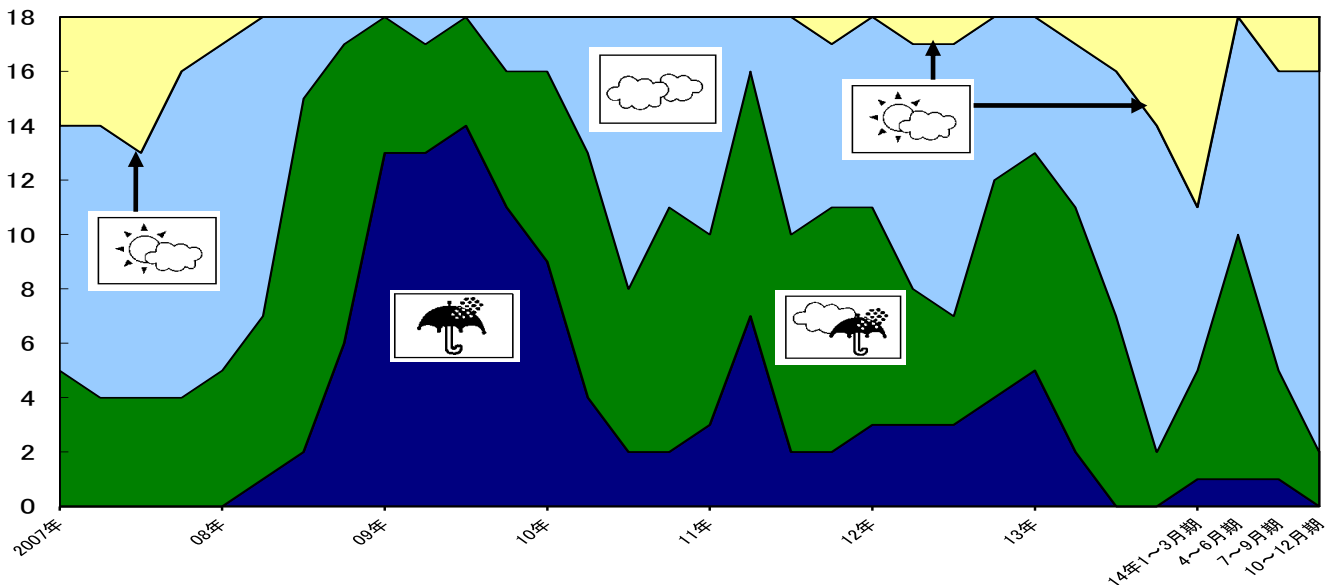
また、非製造業では、**住宅建設**が雇用環境の改善や低金利・住宅ローン減税等の優遇策に対する期待などから、**卸売**が自動車整備用部品の需要が底固く、**建設資材**が堅調に推移すると見られるなどから、各々「曇り」へ持ち直す見通しである。

天気図別の業種数

区分	晴	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨
2014年 4～6月期(前回)	0	0	8	9	1
2014年 7～9月期(今回)	0	2	11	4	1
2014年 10～12月期(先行き)	0	2	14	2	0

(業種数)

産業天気図



(注) 天気マークと BSI 基準の目安

天気マーク	晴	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨
BSI	100 以下～50 以上	50 未満～20 以上	20 未満～-20 超	-20 以下～-50 超	-50 以下～-100 以上